

金井町内会広報かわら版

2009年2月1日号

金井町内会恒例の「塞ノ神（どんど焼き）」が金井八幡神社と共催で行われました！
（2009年1月14日（水）17：00～ 金井スポーツ広場）

賽の神は、お正月飾りに宿った神様を天に帰し、一年の健康を祈るお正月最後の大会イベントです。今年も竹で組んだやぐらが二塔建てられました。

子供たちの手で、次々と点火されるとあっという間に夜空に炎が立ちのぼり、竹の爆ぜる音と火の粉に歓声が上がります。

火の静まるのを待って竹串の先のおだんごを我先に焼きました。

この焼いたおだんごを食べるとその年は風邪をひかないといわれ、焼いた串を自宅の門に置くと魔除けになるともいわれます。

町内会役員をはじめ関連団体の皆さんが何日も前から地元の竹を切り出し、塔を建て、おだんごをさす竹串を1000本以上も作りました。

賽の神当日に女性の会や育成会の皆さんが作ったおだんごをこの竹串にさして希望者に100円で頒布しました。また、冷え込む夜の為に無料の甘酒も用意しました。

このような良き日本の伝統文化を末永く子供たちに伝えていきたいものです。

金井の皆様にとって、良き一年でありますようお願い申し上げます。

